

中学校第 1 学年 英語科学習指導案

指導者： 土生 秀子

教科に関する調査の設問別の分析結果

平成 24 年度標準学力調査 中学校 2 年英語 C 8 (1)

<p>8 次のような場合、英語でどのように言いますか。例にならって 3 語以上の英文 1 文で書きなさい。 (例) 相手に、これは何かとたずねる場合。 What is this? (1) 相手に、兄弟がいるかをたずねる場合。</p>	<p>【出題の趣旨】 一般動詞の疑問文を書くことができるかどうかを見る。</p> <p>【学習指導要領の内容・領域】 「書くこと」(イ)語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。</p>
---	---

	正答率
本校	72.0%
期待正答率	35.0%

解答類型	1	2	3	4	9	無解答
本校の割合 (%)	62.7	1.7	0.0	15.3	13.6	6.8

この問題を解くために必要な力

- ・文のきまりに基づいて、正しい語順で疑問文を書く力。
- ・一般動詞を使う疑問文で any を正しく使え、複数形を用いて文を書く力。
- ・コミュニケーションの具体的な場面や状況に合った適切な表現を考える力。

誤答分析

解答類型 2 について

疑問文の形になっているが, any を使っていない。複数形でたずねる場合の用法が理解できていない。

- ・ Do you have a brother? ・ Do you have brothers?

解答類型 4 について

軽微な誤りや綴りに 2 か所以上の間違いがある。

- ・ Do you have eny brother?

解答類型 9 について

be 動詞を使って疑問文を書いている。

- ・ Are you brothers? ・ Are you have brother?

調査結果の分析をふまえた指導改善のポイント

指導者 土生 秀子

【単元名】 My Project 1 (第1学年)

調査結果からみる課題

【課題となる力】

- ・正しい語順や語法を用いて文を構成する力。
- ・コミュニケーションの具体的な場面にあった適切な表現を考える力。

【指導上の課題】

- ・正しい語順や語法を用いて文を書く学習が不十分である。
- ・コミュニケーションの具体的な場面や状況をとらえて文章を書かせる指導の工夫が十分ではない。

指導改善のポイント

コミュニケーションの具体的な場面や状況をとらえ、正しい語順や語法を用いて文章を書く。

【指導の工夫】

正しい語順や語法の定着を図る。
自己紹介する場面を設定して既習事項を用いて聞く人にわかりやすい説明文を書かせる。

正しい語順や語法の定着を図る。

- ・ be 動詞や一般動詞を使った文を音読し、確認させる。

正しい語順や語法を日本語との違いに留意して指導する。

be 動詞や一般動詞を用いて、自分を紹介する文を書かせる。

- ・ 自己紹介する場面を設定する。
- ・ 例文を提示する。
- ・ マッピングを用いて情報を整理させる。
- ・ be 動詞や一般動詞を使って紹介する文を書かせる。
- ・ グループ内で発表し、1つ選ばせる。
- ・ グループ内で表現を工夫させる。
- ・ 代表に全体の場で発表させる。
- ・ 代表者の発表を聞いて個々の説明文を作り直させる。

中学校第 1 学年 英語科学習指導案

単元名： My Project

日時・場所 平成 24 年 6 月 20 日（水） 1 年 B 組教室
 学年・学級 1 学年 B 組 32 名（男子 19 名，女子 13 名）

指導者 土生 秀子

単元について

本単元では，学習指導要領「ア 聞くこと」の指導事項「(イ) 自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて，情報を正確に聞き取ること。」また「イ 話すこと」の指導事項「(イ) 自分の考えや気持ち，事実などを聞き手に正しく伝えること。」「ウ 読むこと」の指導事項「(イ) 書かれた内容を考えながら黙読したり，その内容が表現されるように音読すること。」さらに，「エ 書くこと」の指導事項「(イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。」「(オ) 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように，文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。」をねらいとして指導を行う。

この単元では言語材料として「エ 文法事項」の(ア) 単文，重文及び複文としての用法のうち，文の中に主語と述語の関係が一つだけ含まれる単文を扱う。また，(イ) 文構造において「主語 + 動詞 + 補語」「主語 + 動詞 + 目的語」の文構造を扱う。「主語 + 動詞 + 補語」の場合は動詞が be 動詞の場合を，「主語 + 動詞 + 目的語」の場合は目的語が名詞の場合を扱う。第 1 学年においては，小学校における外国語活動で音声を中心に慣れ親しんできた。それを受けて中学校では文字を通じた学習を始め，音声と文字の関係に触れた学習を行う。文法については，コミュニケーションを支えるものであることを踏まえ，言語活動と効果的に関連付けて学習することをねらいとしている。

題材は，自分の趣味や特技，クラブ活動などについて今まで学習した be 動詞，一般動詞，複数形などを使って表現させるものである。小学校外国語活動でも経験したことがある自己紹介を，紹介する場面に応じて適切な英文で書き，発表させ，表現できる力を育成したい。

単元の目標と評価規準

単元の目標

- (1) 多くの人から情報を得ようとして積極的に話しかけている。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- (2) be 動詞や一般動詞を正しく使い，自分の考えを表現することができる。(外国語表現の能力)
- (3) be 動詞や一般動詞を使った英文を読み，その内容を正しく読み取ることができる。
(外国語理解の能力)
- (4) be 動詞や一般動詞を使った英文の意味と使い方を理解している。(言語や文化についての知識)

評価規準

	ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
聞くこと	理解できないところがあっても，推測するなどして聞き続ける。		be 動詞や一般動詞を用いた英文を聞き取ることができる。	
話すこと	間違えることを恐れず学習した表現を使おうとしている。	be 動詞や一般動詞を用いて話すことができる。		
読むこと			be 動詞や一般動詞を用いた英文で書かれた内容について正しく読み取ることができる。	語句や文を正しく発音する知識がある。
書くこと		be 動詞や一般動詞を用いて，説明する文を正しく書くことができる。		be 動詞や一般動詞を理解し，正しく使う知識がある。

指導と評価の計画

(全3時間)

次	学 習 内 容	評 価					
		関	表	理	知	評価規準	評価方法
一	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介の例文を聞き理解する。 ・自己紹介の例文を読み,自己紹介の構成を理解する。(1) 					<ul style="list-style-type: none"> ・ be 動詞や一般動詞を含む英文を聞き取ることができる。ウ ・ 語句や文を正しく発音する知識がある。エ ・ be 動詞や一般動詞を用いた英文で書かれた内容について正しく読み取ることができる。ウ 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の応答 活動の観察 活動の観察
二	<ul style="list-style-type: none"> ・ A L T のモデル文を聞き,理解する。 ・ 自己紹介の構成をもう一度考える。(1) 					<ul style="list-style-type: none"> ・ 理解できないところがあっても,推測するなどして聞き続ける。ア ・ be 動詞や一般動詞を理解し,正しく使う知識がある。エ 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の応答 ワークシート
三	<ul style="list-style-type: none"> ・ be 動詞や一般動詞を使って,自己紹介ができる。(1) 【本時1/1】 					<ul style="list-style-type: none"> ・ 間違うことを恐れず学習した表現を使おうとしている。ア ・ be 動詞や一般動詞を用いて,説明する文を正しく書くことができる。イ ・ be 動詞や一般動詞を用いて話すことができる。イ 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の観察 ワークシート ワークシート

本時の学習

(1) 本時の目標

- ・ be 動詞や一般動詞を使って,場面に応じた自己紹介をすることができる。

(2) 観点別評価規準

- ・ be 動詞や一般動詞を用いて,説明する文を正しく書くことができる。(外国語表現の能力)
- ・ be 動詞や一般動詞を用いて話すことができる。(外国語表現の能力)
- ・ 間違うことを恐れず学習した表現を使おうとしている。

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

(3) 本時で活用する「思考スキル・表現スキル」

表現スキル(構成)

- ・ 内容・・・自己紹介する相手を意識して,情報をグルーピングしながらわかりやすく構成する。
- ・ 書く活動・・・ be 動詞や一般動詞を用いて,自己紹介する英文を書く。

表現スキル（相手意識）

- ・内容・・・聞き手によりわかりやすく伝わるように，声の大きさやアイコンタクトに気をつけて表現する。

(4) 準備物

ワークシート，CD，

(5) 学習過程

学 習 活 動		指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
教師の働きかけ 発問 主発問 補助発問	生徒の反応		
導入	Greetings (Q and A) 既習英文を音読練習しよう。	・質問に答える。 ・ペアで音読練習する。	・大きい声で発音させる。
展	(1) 課題設定 be 動詞や一般動詞を使って，場面に応じた自己紹介をしよう。		
	知識確認・定着 既習の文型の確認をしよう。	・語順を確認する。 I am (I'm) from Sera. I have two brothers. I like baseball.	・語順に注意させる。
開	(2) 個人思考 be 動詞や一般動詞を使って，場面に応じた自己紹介文を英語で書こう。	・モデルの英文を聞く。 (ハワイのホストファミリーに紹介しよう。) Hello. Nice to meet you. I'm Yuki Okada. I am a junior high school student. I play baseball. I'm on the baseball team. Thank you.	
	ワークシートに自己紹介文を書こう。次の4場面から選んで書こう。(5文以上を目標にしよう。)	・be 動詞や一般動詞が使われていることを理解する。 ・説明する英文を書く。	説明の順を意識する 情報の種類 情報の順序

表現スキル(構成)

書く活動

- ・机間指導を行い，個別支援する。
- ・英語で文章を作りにくい場合は，まず日本語で考えさせる。
- ・語順に注意させて文を作る。
- ・マッピングや教科書を振り返らせる。
- ・辞書を使って単語

<p>展</p> <p>開</p>	<p>(3) 集団思考</p> <p>グループ内で紹介文を交換し、それぞれの英文を採点し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手により伝わりやすいように英文を書きなおそう。 <p>グループの代表の紹介文を交流しよう。</p> <p>各グループの発表を聞いて、よいところを発表しよう。</p> <p>(4) 個人思考</p> <p>代表の説明文を聞いて、個々の説明文を聞く人にわかりやすいものに作り直そう。ワークシートに工夫した点書きかえた点を記入しよう。</p>	<p>を調べる。</p> <p>表現スキル(相手意識)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で発表する。 ・文章をグループ内で一つ選ぶ。 ・選んだ説明文を再考し構成を考え直す。 (文が並べて書いてあるのでつなぎの言葉を入れたらよいと思います。) (趣味をつけ加えたら、もっと情報が増えて分かりやすくなると思います。) (わたしもその意見に賛成です。つけ加えて、出身地などを紹介したら相手にもっとわかりやすくなると思います。) <p>Hello. Nice to meet you. I'm Yuki Okada. I'm from Hiroshima, Japan. I'm a junior high school student. I like music very much. I usually listen to pop music. I'm a big Lady Gaga fan. I have an ipod. But I don't have any CDs. Let's listen to Lady Gaga together. Thank you.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表が全体の場で発表する。 ・代表者の発表で工夫点やよいところを発表する。 (予想される意見) ・習った文法事項を使っている。 ・大きい声で発表できている。 ・つなぎの言葉を用いているので、わかりやすくなっている。 <p>表現スキル(構成)</p> <p>書く活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表者のよいところを取り入れて自分の説明文を書き直す。 	<p>を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーを指名し、進行させる。 ・相手に伝わりやすい表現にする。 ・簡潔で具体的に <p>アイコンタクト, ジェスチャー</p> <p>情報をグループピングしながらわかりやすい構成にする。</p>	<p>声の大きさやアイコンタクトに気をつけて表現する</p> <p>間違うことを恐れず学習した表現を使おうとしている。 (活動の観察) 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】</p> <p>be 動詞や一般動詞を用いて話すことができる。(発表チェック) 【外国語表現の能力】</p>
	<p>まとめ</p>	<p>(5) まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・条件を満たした文章になったことを確認する。 ・自己評価カードに記入しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を振り返り自己評価カードに評価を記入する。 	

